



六中だより

文京区立第六中学校 校長 小椋 孝

<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

◆◆◆ 学習発表会を終えて ◆◆◆

10月26日（土）に開催した学習発表会には、多数の方にご来場いただき、心から感謝申し上げます。当日は、生徒の皆さんの努力の成果を十二分にご覧いただけたものと存じます。この学習発表会への取組を通じて、自分自身の、そして仲間との努力で得た成果は、かけがえのないものです。ぜひともこの成果を今後の学校生活に生かしていくことを願っています。



学習発表会のアンケートでは、30を超える回答をいただきました。合唱では、「どのクラスも練習の成果が表れていて素晴らしかった」「学年ごとの成長が良く分かり、感動した」「見事に統率がとれていた」など、また展示でも「丁寧で立派な展示だった」「それぞれの個性が光っていた」「3年生の修学旅行関係の展示をはじめとして、レベルが高く見ごたえがあるものが多かった」など、数多くのお褒めの声をいただきました。本当にありがとうございます。

なお、「体育館の外でも進行状況が分かるよい」「レポート系のレベルは非常に高いので、（準備時間が少ないが）作品系も同じくらい頑張してほしい」「それぞれの努力の跡が表れる題材を選んでほしい」「展示の趣旨が掲示されているとなおよかった」「せっかくの作品に壊れていたところがあって残念だった」「展示場所が狭かったように感じた」など、貴重なご意見もいただきました。教職員による評価・反省とあわせ、今後に生かしていきたいと存じます。

大変恐縮ですが、学習発表会開会式の「校長あいさつ」を掲載しますので、ご一読いただければ幸甚に存じます。

「学習発表会」あいさつ

今年の秋は、度重なる台風の甚大な被害があり、ここにいらっしゃる皆様も心を痛めていることと存じますが、本日は秋らしいさわやかな気候のもと、「令和元年度 文京区立第六中学校 学習発表会」を開催できることを大変ありがたく感じています。限られた時間の中、集中して練習や準備に取り組んだ生徒の皆さんの努力と熱意は、きっと大きな成果となって表れると確信しています。

ご来賓、地域、保護者の皆様。早朝よりご来校いただき、心より感謝申し上げます。アリーナにおける合唱と吹奏楽部の演奏、そして校舎内に飾られている日頃の学習の成果である数々の作品から、六中生の確かな学びと健やかな育ちの姿を存分に感じ取っていただけることと存じます。ぜひ、それぞれを価値付け、機会を見て子どもたちに還元していただければありがたく存じます。なお、会場の都合上、保護者の皆様の鑑賞に当たりましてはいろいろと約束事があり、誠に恐縮ですが、円滑な進行のためにご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、生徒の皆さん。6月の運動会では、「烈火 ～令和に刻め 我らの熱き六中魂～」というスローガンのもと、素晴らしい姿を見せてくれました。それを受けて今回の学習発表会では、「一意閃心 ～令和を彩れ 我らの熱き六中魂～」というスローガンが決定されました。この「ひらめき」と「いろどり」というキーワードから読み取れるように、本日は皆さんの豊かな感性と個性を存分に発揮し、自らの手で素晴らしい行事を創り上げてもらいたいと思っています。私も本当に楽しみにしています。

また、運動会のあいさつでは、「One for all, All for one = 一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」という話をさせていただきました。今回のラグビーワールドカップでは、日本代表はベスト8進出を果たし、その活躍が数々の感動を呼んでいます。その中で特に「ONE TEAM」という言葉が注目されています。この「ONE TEAM」について、ジェイミー・ジョセフヘッドコーチは、「選手がベストを尽くせる共通目標として考え出されたキーワード。チーム愛、結束力を高めるもの」と説明しています。また、スタンドオフの田村 優（たむら ゆう）選手は、「この合言葉の下で目標を立てて、一つになって有言実行するチームを誇りに思う」と語っています。今日は、様々な場面で皆さんの「ONE TEAM」の姿が見られることと思います。今日一日の皆さんの「協力、信頼、団結」の姿が、六中の輝かしい伝統に新たな1ページを刻むことを心より期待しています。

結びに、これまで中心となって準備に取り組んでくれた実行委員の皆さん、そしてクラスのリーダーの皆さんの頑張りにお礼を申し上げ、開会のあいさつといたします。

◆◆◆ 「ONE TEAMで戦った」 桜31人の言葉 ◆◆◆

11月11日（月）の全校朝礼の際に、ラグビーワールドカップ日本代表選手のうち、残念ながら試合に出る機会がなかった木津選手、北出選手、徳永選手、茂野選手の言葉を引用し、「ONE TEAMの意味」「一つの目標に向かって努力することの大切さ」「自分のことだけでなく集団のことを考えることの尊さ」などについて話をしました。

ここに日本代表選手全員の言葉を掲載します。生徒の皆さんは、どの言葉が印象に残るでしょうか。それぞれ、思いのこもった言葉がつづられていますので、ぜひ読んでみてください。

【読売新聞 [令和元年11月3日（日）朝刊] より引用】

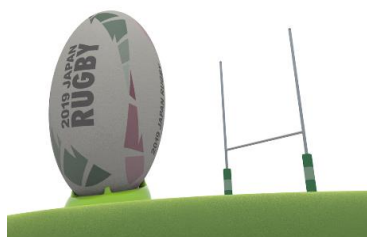
区分	出場した試合					位置	氏名 (敬称略)	コメント
	R U S	I R L	S A M	S C O	R S A			
FW	○	○	○	○	○	PR	稲垣 啓太	今まで教わってきたことは全て出した。その上でかなわなかった部分もある。南アフリカのプレッシャーが素晴らしかった。
						PR	木津 悠輔	試合に出られなかったが、貴重な体験ができた。選手として成長できたかなと思う。
	○	○	○	○	○	PR	具 智元	どのチームと組んでも、自分たちのスクラムが組めればいい感じで組める自信がある。
	○	○	○	○	○	PR	中島 イシレリ	スクラムは一人では組めない。8人で押す。それをすごく練習している。
	○	○	○	○	○	PR	ヴァル アサレリ 愛	ホームのプレッシャーがあるが、日本は重圧をエナジーに変えた。
						HO	北出 卓也	出場できなかったことも、次に頑張るモチベーションになっている。
	○		○	○	○	HO	坂手 淳史	(途中出場では、先発で) 出ている選手とどうつながるか、どう流れを変えるか、いい流れを継続させるかに焦点を置いている。
	○	○	○	○	○	HO	堀江 翔太	ベスト8に行くというのは、2015年大会が終わってから常に思い続けてきたことなので、達成できてホンマに良かった。ベスト8とったら、どんな景色やろって思っていましたけど4年前と一緒に。まだまだ成長できるなって思います。
	○	○		○	○	LO	トンブソン ルーク	タックルが僕の仕事。ちゃんとやっているとメンバーに入っていない。だから、(タックルするのは) 普通。
	○	○	○		○	LO	ヴィンビー ファンデルバルト	(日本の) 子どもたちがラグビーをしている姿を見て、競技の発展を感じる。
			○	○		LO	ヘル ウヴェ	(ジョセフ・ヘッドコーチは) いろいろ話してくれる素晴らしいコーチ。彼の言葉でここまで導かれたと思う。
	○	○	○	○	○	LO	ジェームス ムーア	防御は好きな分野。タックルを試合で成功できたことを非常にうれしく思っている。
	○		○	○		FL	ツイ ハンドリック	いい準備ができているから、自分に与えられた役割を自信をもって遂行できる。
						FL	徳永 祥堯	(出場) メンバーを外れたときは落ち込む。でも、勝つには自分たちのサポートが大事。切り替えている。
	○	○	○	○	○	FL	リーチ マイケル	台風で苦しんでいる方々がたくさんいる中、元気や勇気を与えようという思いで試合をした。ピッチに出た23人だけでなく、(出場登録外の) ノンメンバー含めて、「ONE TEAM」で戦うことができ良かった。(8強入りは) 日本にとってもアジアにとっても素晴らしいこと。
○	○	○	○	○	FL	ピーター ラブスカフニ	成功したいなら、計画通りに進めていくこと。細かいことをきちんと実行することが重要。	
○	○	○	○	○	FL No.8	姫野 和樹	自分の強みを出せた、いい大会だった。ベスト8という目標も達成した。しかし、ここが終わりではない。4年後は優勝を狙わないといけない。チームとしても、個人としても、もっとレベルアップしないといけない。	
	○			○	No.8	アナマキ レレイ マフィ	アイルランド戦は、30分しか出ていないが、みんなが僕の方を頑張ってくれた。	

【凡例】

- | | | |
|-------------|--|--------------|
| ※ 国名 | | ※ 位置（ポジション） |
| RUS ロシア | | PR ブロップ |
| IRL アイルランド | | HO フッカー |
| SAM サモア | | LO ロック |
| SCO スコットランド | | FL フランカー |
| RSA 南アフリカ | | No.8 ナンバーエイト |
| | | SH スクラムハーフ |
| ※ 区分 | | SO スタンドオフ |
| FW フォワード | | WTB ウィング |
| BK バックス | | CTB センター |
| | | FB フルバック |



区分	出場した試合					位置	氏名 (敬称略)	コメント
	RUS	IRL	SAM	SCO	RSA			
BK						SH	茂野 海人	試合に出られず悔しいが、掲げていた目標を達成し、出場しているメンバーを誇らしく思う。
	○	○	○	○	○	SH	田中 史朗	宮崎、北海道としんどい練習をしてきた。しんどいことをすれば勝てるということを証明できた。
	○	○	○	○	○	SH	流 大	勝てる信じ、お互いを信じてやってきた。日本中を盛り上げられたのは、意味があることだと思う。
	○	○	○	○	○	SO	田村 優	（グループリーグを）4勝で1位通過することを信じていたし、ベスト8は8年前からの目標でもあった。8年間、信じてきて良かった。僕たちの攻撃は世界一。自分たちが一番強いと思って、迷いなくぶつかった。
	○		○		○	SO CTB	松田力也	毎試合いい準備をして、勇気を持ち、自信をもってプレーすれば結果がついてくるのが分かった。
	○			○		CTB	ウィリアム トゥポウ	このチームには、自分たちがやってきた準備やプランを信じる力がある。
	○	○	○	○	○	CTB	中村 亮士	最後の一番しんどいときに我慢できた。防御面でレベルアップできている。これまでハードなことをやってきた結果（スコットランド戦で）。
	○	○	○	○	○	CTB	ラファエレ ティモシー	FWが勢いづけてくれている。コミュニケーションもよく取れているので、私の仕事が楽になっている。
		○	○	○	○	WTB	福岡 堅樹	自分たちで歴史を作るという目標が達成できてうれしい。チームに勢いを与えるプレーをすることを目指していたので、それができて本当に良かった。（トライという）結果が注目されるが、それまでのチームのプレーを伝えたい。
	○	○	○	○	○	WTB	アタアタ モエアキオラ	このチームと一緒にラグビーができてうれしく思う。
	○	○	○		○	WTB	レメキ ロマノ ラヴァ	（日本は）攻撃力があるので、最後まで4トライ目を取ろうと思っていた（サモア戦で）。
	○	○	○	○	○	FB WTB	松島 幸太郎	（福岡）堅樹とのいいコミュニケーションでトライが取れた。（台風19号で）被害を受けた方がたくさんいる中、自分たちができることは、勝って元気を与えることと想っていたので、勝つことができて良かった（スコットランド戦で）。
	○	○	○	○	○	FB WTB	山中 亮平	負けただけと思切ったプレーはできた。後悔はない。（この日が命日の）平尾（誠二）さんも見てくれたと思う（南アフリカ戦で）。



◆◆◆ ミニ知識 二十四節気（にじゅうしせっき）と雑節（ざっせつ） ◆◆◆

この話も、11月11日（月）の全校朝礼の機会に生徒の皆さんに伝えたものです。11月8日（金）に「立冬（秋が極まり、冬の気配が立ち始める日＝来る冬に備える時期）」を迎えたことを話し、期末考査に向けて学習と健康の両方を整えていくことの重要性について触れました。特にこの時期は、流行性疾患等の感染を予防するために「手洗い」「うがい」を励行するとともに、「栄養」と「休養」をしっかりとるようにしてほしいものです。自分の力を最大限に発揮するためにも、ぜひご家庭でもご協力をお願い申し上げます。

なお、「立冬」は1年の太陽の黄道上の動きを視黄経の15度ごとに24等分して決められている「二十四節気（にじゅうしせっき）」の一つです。これに関連して、二十四節気を補う季節の移り変わりの目安として「雑節（ざっせつ）」があり、「土用」と「彼岸」は入りの日付を示しています。

これらは、季節の移り変わりを表す言葉として用いられますが、「〇〇の候」などのように手紙の冒頭に用いて季節や天候に応じた心情や季節感を表す「礼儀文（時候の挨拶）」としてもよく使われています。次の表は、国立天文台暦計算室の資料から抜粋したものです。実際の季節とはやや異なる部分もありますが、季節感を大切にしてきた日本に根付いている習慣なので、皆さんも参考にしてみてください。

区分	名称	読み方	日にち	説明	
二十四節気	冬	立 冬	りっとう	11月 8日	冬の気配が感じられる。
		小 雪	しょうせつ	11月22日	寒くなって雨が雪になる。
		大 雪	だいせつ	12月 7日	雪がいよいよ降り積もってくる。
		冬 至	とうじ	12月22日	昼が一年中で一番短くなる。
		小 寒	しょうかん	1月 6日	寒の入りで、寒気が増してくる。
		大 寒	だいかん	1月20日	冷気が極まって、最も寒さがつのる。
	春	立 春	りっしゅん	2月 4日	寒さも峠を越え、春の気配が感じられる。
		雨 水	うすい	2月19日	陽気がよくなり、雪や氷が溶けて水になり、雪が雨に変わる。
		啓 蟄	けいちつ	3月 5日	冬ごもりしていた地中の虫がはい出てくる。
		春 分	しゅんぶん	3月20日	太陽が真東から登って真西に沈み、昼夜がほぼ等しくなる。
		清 明	せいめい	4月 4日	すべてのものが生き生きとして、清らかに見える。
		穀 雨	こくう	4月19日	穀物をうるおす春雨が降る。
	夏	立 夏	りっか	5月 5日	夏の気配が感じられる。
		小 満	しょうまん	5月20日	すべてのものが次第に伸びて天地に満ち始める。
		芒 種	ぼうしゅ	6月 5日	稲などの「芒（とげ状の突起）のある」穀物を植える。
		夏 至	げし	6月21日	昼の長さが最も長くなる。
		小 暑	しょうしょ	7月 7日	暑気に入り梅雨の明けころ。
		大 暑	たいしょ	7月22日	夏の暑さが最も極まるころ。
	秋	立 秋	りっしゅう	8月 7日	秋の気配が感じられる。
		処 暑	しょしょ	8月23日	暑さが収まるころ。
		白 露	はくろ	9月 7日	しらつゆが草に宿る。
		秋 分	しゅうぶん	9月22日	秋の彼岸の中日、昼夜がほぼ等しくなる。
		寒 露	かんろ	10月 8日	秋が深まり野草に冷たい露が結ぶ。
		霜 降	そうこう	10月23日	霜が降りるころ。
雑節	土 用	どよう	1月18日	立冬の前18日間を指す。	
	節 分	せつぶん	2月 3日	季節の分かれ目のことで、もとは四季にあった。立春の前日。	
	彼 岸	ひがん	3月17日	春分の前後の3日ずつの計7日を指す。	
	土 用	どよう	4月16日	立春の前18日間を指す。	
	八十八夜	はちじゅうはちや	5月 1日	立春から数えて88日目の日。霜が降りることが少なくなるころ。	
	入 梅	にゅうばい	6月10日	「梅雨」の雨が降り始めるころ。	
	半夏生	はんげしょう	7月 1日	夏至より10日後とされていた日。	
	土 用	どよう	7月19日	立夏の前18日間を指す。最近ではこの時期だけを指すことが多い。	
	二百十日	にひゃくとおか	8月31日	立春から数えて210日目の日。	
	彼 岸	ひがん	9月19日	秋分の前後の3日ずつの計7日を指す。	
土 用	どよう	10月20日	立秋の前18日間を指す。		

※ 日にちは固定ではなく、毎年変わるものです。表には、令和元年11月から令和2年10月のものを掲載しました。